

## 主な取組の実績一覧

4年間の主な実績について、第4次総合計画の政策に沿って以下にお示しします。

### 1 平和と人権を尊重するまちづくり

ロシアのウクライナへの核兵器使用を示唆した軍事侵攻に対して強く抗議を行うとともに、日本への避難者に対して、民間企業とも連携し支援を行いました。また、人権に関する啓発や教育を進めることにより、多様な価値観を認め、互いの人権を尊重することについての理解を深めました。LGBTQなど性的マイノリティの方々への支援に向けた検討も進めました。人権の視点を全ての施策の考え方の基盤にして、様々な取組を進めました。

#### 1 人権の保障

1	ウクライナ避難者の受入れと総合支援窓口の設置
2	パートナーシップ宣誓証明制度を令和5年度（2023年度）から導入

### 2 市民自治によるまちづくり

地域住民や若い世代と意見交換をするため、タウンミーティングを実施しました。また、公式ウェブサイトをもっと使いやすいようリニューアルし、市民への情報共有・発信の強化を図ったほか、自治会活動に対し様々な支援を実施し、コミュニティの活性化を図りました。

#### 1 情報共有

1	公式ウェブサイトを全面リニューアル
2	公式LINEにセグメント配信等の機能を追加

#### 2 市民参画・協働

1	大学生や地域住民と市長とのタウンミーティングを実施
---	---------------------------

#### 3 コミュニティ

1	自治会向けにアンケートを実施し、加入促進の方法を検討
2	市ホームページでの自治会検索、加入手続の仕組みを構築

3	自治会加入促進等活動補助金を創設
---	------------------

4	自治会向けSNS活用講座を開催
---	-----------------

### 3 災害に強く安心して暮らせるまちづくり

平成30年の大阪府北部地震や大型台風による被害の教訓のもと、頻発する自然災害に備え、平素から最悪の事態を想定し、自助・共助・公助それぞれの強化を進めました。危機管理センターの新たな構築を始めとした危機管理体制のほか、消防・救急といった市の体制強化、市民、事業者との協働による地域防災力の強化を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の発生後は、市対策本部会議を開催し、全庁挙げて新型コロナウイルス感染症への対応に取り組みました。

#### 1 危機管理体制

1	有事施設の常設・ワンフロア化及び災害対応オペレーションシステムを備えた危機管理センターを構築
2	市内6地域に防災用備蓄倉庫を整備
3	より実行性の高い地域防災計画への改訂
4	大型台風等を想定したタイムラインを作成
5	災害対策本部運営体制の職員体制を強化
6	人と防災未来センターや防災科学技術研究所と連携した訓練等を実施
7	SNSを活用した災害情報発信体制を整備
8	インターネット環境がない人への災害情報自動配信サービスを開始
9	ヤフー(株)と災害に係る情報発信等に関する協定を締結
10	市内全小学校への組立式給水タンクの整備や自治会と合同で応急給水訓練を実施
11	北千里給水拠点の整備工事の実施により災害時給水拠点の機能を増強
12	摂津市と企業との三者間で災害時の緊急避難等についての協力に関する協定を締結

13	自治体、企業、学校等と各種の災害時応援協定を締結（累計94本）
14	新型コロナウイルス感染症対応のため、市対策本部会議を70回以上にわたって開催
15	不発弾処理の実施及び報告書の作成

## 2 防災力・減災力

1	自主防災組織活動支援補助金を創設
2	自主防災組織意見交換会を実施
3	防災ブック・ハザードマップを全戸配布

## 3 消防・救急救命体制

1	令和6年度（2024年度）の開設に向け北部消防庁舎等複合施設を建設
2	豊中市・池田市・箕面市・摂津市との5市による消防通信指令業務共同運用を決定（令和6年度（2024年度）開始）
3	救急需要増大に対応した救急隊増隊を検討
4	南消防署南正雀出張所移転整備及び（仮称）北消防署北千里出張所整備に着手

# 4 犯罪を許さないまちづくり

誰もが安心安全に暮らせるまちをめざし、街頭防犯カメラの大幅増設や定期的な防犯講座・啓発活動による防犯意識の向上など、様々な取組を実施しました。これらの取組の結果、本市の刑法犯認知件数は、大幅に減少しました。

### 1 防犯力の向上

#### (1)防犯カメラ

1	街頭防犯カメラを増設し、合計804台で運用
2	公園設置防犯カメラ80台を運用
3	防犯カメラ付き自動販売機の実証実験を実施

#### (2)防犯意識

1	吹田警察署、吹田防犯協議会と合同で全国地域安全運動のキャンペーンを実施
2	小学生を対象とした防犯教室を実施

3	千里山駅前交番事件への対応
---	---------------

## 2 消費者意識の向上

1	高齢者が利用する事業所等への特殊詐欺等被害防止の啓発に向けた協力を依頼
---	-------------------------------------

# 5 高齢者の暮らしを支えるまちづくり

住まい、医療、介護、介護予防、生活支援の各サービスが切れ目なく一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めました。市独自の介護予防の取組を推進するとともに、保健事業と介護予防の一体的実施として、個別支援によるフレイル予防に取り組みました。

### 1 生きがいづくり・社会参加

1	ふれあい交流サロンを5か所増設し、11か所開設
2	高齢者関係団体用福祉バスの貸付を110台から216台へ拡充

### 2 介護予防・相談支援体制

#### (1)介護予防

1	きらきら脳トレ体操など吹田市オリジナル介護予防体操の普及・継続支援
2	はつらつ元気手帳（介護予防手帳）を作成・配布
3	低栄養予防のためのはつらつ元気レシピ集を作成
4	ICTを活用した認知機能評価システムを導入
5	加齢性難聴について啓発
6	保健事業と介護予防の一体的実施として、栄養・口腔・健康状態不明者を個別支援
7	フレイル予防等周知・啓発のため、低栄養リスクチェック、脳体力測定等を実施
8	KDB（国保データベースシステム）等の分析結果を公開
9	国立循環器病研究センターと吹田フレイル予防ネットを構築し脳卒中軽症退院患者を支援

#### (2)認知症高齢者支援

1	徘徊高齢者捜索のためのみまもりあいステッカー・みまもりあいアプリを導入
---	-------------------------------------

### 3 施設整備

1	地域密着型サービスの整備事業者を選定
2	北千里保育園跡地を活用し介護保険施設を整備

## 6 障がい者の暮らしを支えるまちづくり

身近な相談窓口として障がい者相談支援センターの設置や、医療的ケアを要する障がい者に対する支援体制の構築など、障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、障がい福祉サービスや相談支援体制の充実を図りました。

### 1 暮らしの基盤づくり

#### (1)障がい福祉サービス

1	第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画を策定
2	障がい者相談支援センターを市内6か所に設置
3	合理的配慮庁内推進会議を設置
4	障がい者差別解消支援地域協議会を設置

#### (2)事業所支援

1	指定特定（障がい児）相談支援事業普及促進事業補助金制度を創設
2	グループホーム運営補助制度を再構築
3	新型コロナウイルス感染症感染防止用物品等を配布

### 2 社会参加

1	日中活動系サービスの送迎車両購入補助制度を創設
2	医療的ケアを要する障がい者に対する支援体制の充実に向け検討
3	障がい者就労支援ネットワーク会議を設置
4	地域活動支援センターの拡充により、障がい者の居場所づくり確保の体制を強化
5	市役所でチャレンジ雇用（会計年度任用職員）を実施し、障がい者の就労を支援

## 7 地域での暮らしを支えるまちづくり

地域共生社会の実現に向け、地域福祉活動を担う団体への支援を進めるとともに、災害発生時に備え、災害時要援護者支援の取組を進めました。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大や物価高騰の影響により、生活困窮者が増加する中、相談支援体制の充実にも努めるなど、セーフティネットと地域で支え合う仕組みづくりの構築に取り組みました。

### 1 災害時要援護者支援

1	市内11地区の自治会などの地域支援組織と災害時要援護者支援に関する協定を締結
2	災害時要援護者支援制度について、市内10地区の地域支援組織に説明会・勉強会を実施
3	災害時要援護者避難支援ハンドブックを作成・配付するなど個別支援計画策定を支援
4	福祉避難所を指定（1施設増で全29施設）
5	福祉避難所の体制強化のため、簡易トイレ・ポータブル電源などの設備品を配備

## 8 健康・医療のまちづくり

「自分らしく、笑涯、輝く」との理念のもと、全ての世代のQOL向上と健康寿命の延伸をめざし、北大阪健康医療都市（健都）を中心に、産学官民連携による健康・医療のまちづくりに取り組みました。また、市民に身近な自治体として保健所を中心に本市一丸となって感染症対策に取り組み、吹田市民の命と健康を守ることに全力を尽くしました。

### 1 健康づくり

#### (1)平均寿命・健康寿命の延伸

1	健康すいた21（第3次）を策定
2	「自分らしく、笑涯、輝く」ための健康寿命延伸にかかる庁内基本方針を策定

#### (2)健（検）診等

1	産婦歯科健康診査、新生児聴覚検査、胃がん検診（胃内視鏡検査）を開始
2	妊婦健診拡充
3	3歳児健診に目の屈折検査機器導入
4	“健都”循環器病予防プロジェクトにより心不全リスクのある市民へ保健指導を実施

### (3)不妊治療

1	市独自の特定不妊治療費助成を実施
2	不育症検査及び治療に対する検査費助成及び市独自の治療費助成を開始

### (4)母子保健

1	多胎児家庭サポート事業を開始
2	乳幼児訪問指導における継続訪問指導の期間を延長
3	妊産婦サポートクーポン事業を実施
4	出産・子育て応援事業を実施

### (5)スモークフリーシティ (たばこの煙のないまち)

1	スモークフリーシティの実現に向け、中長期的な取組の方向を示したロードマップを作成
2	卒煙支援ブースを設置（JR吹田・岸辺駅前）
3	全部局が目標を掲げ、スモークフリーの取組を推進

## 2 北大阪健康医療都市（健都）

### (1)健都を中心とした健康・医療のまちづくり

1	健康・医療情報を健康づくりや研究・開発等に利活用するための取組（データヘルス）を推進
2	市民の健康に資する製品・サービスを生み出し市民の行動変容を促す仕組みの構築を推進
3	産学と民（市民）をつなげる健都ヘルスサポーターの運用を開始

### (2)高齢者向けウェルネス住宅 ・健都ライブラリー

1	高齢者向けウェルネス住宅（patona吹田健都）が竣工
2	健都ライブラリーがオープンし、健康増進の取組を推進

### (3)国立循環器病研究センター(国循)との連携

1	健都に国循が移転オープンし、寄附により建設したドナルド・マクドナルド・ハウスおおさか健都もオープン
2	“健都”循環器病予防プロジェクトにより心不全リスクのある市民へ保健指導を実施（再掲）
3	国循、大阪大学と連携・協力し、子供と保護者の健康支援プロジェクトを開始

4	心不全と認知症に関するコホート研究を開始
5	国循と吹田フレイル予防ネットを構築し脳卒中軽症退院患者を支援（再掲）
6	生活習慣改善を促すツールとして、母子健康手帳機能を備えた健康支援アプリを開発

### (4)医薬基盤・健康・栄養研究所との連携

1	健都イノベーションパークNKビル（アライアンス棟）がオープン
2	医薬基盤・健康・栄養研究所と連携協定を締結

### (5)Suita サステイナブル・スマートタウン (Suita SST) との連携

1	パナソニック(株)と持続可能なまちづくりに向けた連携協定を締結
2	パナソニック(株)等と協定を締結し、水道スマートメーターの実証実験を開始

## 3 地域医療

1	かかりつけ医の啓発を実施
2	休日急病診療所を移転開設

## 4 保健所・公衆衛生

1	中核市移行に伴い市保健所を設置
2	新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン接種を始めとした保健医療業務を実施
3	地域猫活動の支援を開始

## 9 子育てしやすいまちづくり

増加する保育ニーズに対応するため、保育所の整備等を行い、待機児童ゼロを達成することができました。また、子育ての不安や負担を軽減できるよう、相談体制を強化するとともに、子ども医療費助成制度の拡充や病児・病後児保育の拡充を行うなど、社会や地域が一丸となって、子供の健やかな成長を守るための様々な取組を実施しました。

### 1 就学前の教育・保育

1	保育士・保育所支援センターを設置
2	保育所入所相談等の窓口予約システムを運用開始
3	北千里保育園跡地に保育所を誘致
4	市営江坂住宅跡地に保育所を誘致（令和5年（2023年）4月開所予定）
5	千里新田幼稚園・江坂大池幼稚園を幼保連携型認定こども園化

### 2 子育て支援

#### (1)病児・病後児保育

1	病児・病後児保育室を新たに整備（3施設増で全6施設）
2	病児・病後児保育利用のウェブ予約を開始
3	病児・病後児保育の利用対象年齢を小学1年生まで拡大

#### (2)子ども医療費

1	子ども医療費助成の対象を、18歳到達年度末まで引き上げ
2	子ども医療費助成の対象に、精神病床への入院を追加

#### (3)児童会館・児童センター

1	高城児童会館の市営日の出住宅跡地への移転整備に着手
---	---------------------------

### 3 配慮が必要な子供・家庭への支援

#### (1)療育支援体制の強化

1	こども発達支援センターに児童発達専門医による発達外来を開設
2	医療的ケアを必要とする児童について関係機関による協議の場を設置

3	障がい児通所支援事業所に対する研修・機関支援の実施に向け、訪問調査を実施
4	子供の発達などに悩みや心配のある保護者とその支援者対象の講座を実施
5	5歳から就学までの児童を対象とした発達相談（おひさま相談）を開始

#### (2)児童虐待防止

1	吹田市子ども家庭総合支援拠点を設置
2	父親の育児への積極的な参加促進を目的に、講座やニーズ調査を実施
3	家庭児童相談員を増員し、児童虐待対応体制を強化
4	子育て世帯家事・育児支援事業を実施

#### (3)子供の貧困

1	子供の生活状況調査を実施
2	子供の夢・未来応援施策基本方針の改定に着手
3	子供食堂開設等事業補助金を創設

## 10 学校教育の充実したまちづくり

「いじめのない学校づくり」を重点課題とし、いじめ防止のための取組を大幅に強化しました。また、子供たちを取り巻く社会の変化に対応した学校教育環境を提供できるよう、本市にふさわしい特色ある教育モデルの構築に取り組みました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあり、学校教育のICT化が急激に進む中、教職員を取り巻く環境にも着目し、中核市移行による権限も活用しながら、改革を進めました。

### 1 学校教育

#### (1)いじめ防止

1	総合教育会議を開催し、市長と教育委員会が連携して、課題や市の教育の方向性を共有
2	いじめのない学校づくりの実現をめざし、すいたGRE・ENスクールプロジェクトを開始
3	学校風土いじめ調査を実施
4	全教職員を対象にいじめ予防校内研修、児童・生徒を対象にいじめ予防授業を実施
5	スクールソーシャルワーカーの配置時間を拡充

6	いじめ対応専任相談員及びいじめ対応支援員を増員
7	第三者調査委員会の常設化による重大事態への対応の迅速化
8	全児童・生徒へSOSカードを配付
9	学校や教育委員会にヘルプサインを直接送信できるいじめ防止相談ツール「マモレポ」の運用を開始
10	いじめ加害児童・生徒への指導、被害児童・生徒への支援を含むいじめ予防プログラムを開発
11	デジタル健康観察による心身の健康状態から自殺、いじめ、不登校等のリスクをスクリーニング

## (2)市独自の教育

1	中核市移行に伴い、法定研修を含む全ての教職員研修を企画・運営
2	大阪府が持つ府費負担教職員の人事権移譲をめざし検討
3	(公財)千里リサイクルプラザと連携した環境学習発表会や環境学習展示発表会を実施
4	英語体験学習やネイティブ・スピーカーによるコミュニケーション体験活動を実施
5	小・中学校に配置する英語指導助手を増員、配置期間を延長
6	女子サッカーの拠点校でガンバ大阪派遣コーチによる指導を実施
7	スクールプロジェクト支援事業を推進

## (3)多様な児童・生徒への支援

1	北部消防庁舎等複合施設内への教育支援教室移転に伴う、新たな不登校児童・生徒対策の検討に着手
2	東京大学大学院教育学研究科との連携協定に基づき、インクルーシブ教育の構築に向けた研究を開始

## (4)学校規模適正化

1	吹田市立学校規模等検討委員会を開催し、学校規模を分類して課題を整理
2	学校規模適正化基本方針を策定
3	藤白台小学校の学校規模適正化に向け学校規模適正化実施計画(第1期)を策定

## (5)学校現場の体制強化

1	学校生活支援などを行うスターター(支援員)の増員及び配置対象を拡大
---	-----------------------------------

2	タブレットなどの情報機器を活用した授業や端末管理等を支援する人材を配置し、教職員の負担を軽減
3	部活動への支援として、部活動支援員の拡充配置、地域移行に向けた検討を開始
4	学校教育情報通信ネットワーク(SATSUKIネット)、統合型校務支援システムを再構築し、校務・教務を効率化

## (6)小・中学校給食

1	中学校給食に関するアンケートを実施
2	今後の望ましい中学校給食について議論するため、中学校給食在り方検討会議を開催
3	中学校給食全員喫食の実現に向け、給食センターの整備の検討を開始
4	国循のおいしい減塩食「かるしお®」手法を利用した献立による小学校給食の提供
5	小学校給食費の無償化、中学校給食費の半額補助を実施(令和2年(2020年)6月から令和3年(2021年)3月、令和3年(2021年)10月から令和5年(2023年)3月)

## 2 学校教育環境

1	全ての小・中学校の普通教室にプロジェクターを整備し、特別教室も含め無線LANを整備
2	GIGAスクール構想に基づくタブレット・パソコンを全児童・生徒に配備
3	小・中学校のトイレリニューアルを実施
4	小・中学校の校舎(25校)及び体育館(19校)の大規模改修工事を実施
5	全小・中学校の特別教室にエアコンを整備
6	小・中学校の体育館へのエアコン整備に向けた調査検討業務を実施
7	小学校遊具の更新・整備に着手
8	小学校給食費の公会計化・学校徴収金の一括徴収を開始(令和5年度(2023年度)開始)

# 1 1 青少年がすこやかに育つまちづくり

青少年のすこやかな成長に向け、子供たちの自然体験、交流活動などの取組や放課後の居場所づくりの充実に努めました。

## 1 青少年の健全育成

1	自然の家（もくもくの里）への指定管理者制度の導入及び計画的な施設改修を実施
2	二十歳を祝う式典をパナソニックスタジアム吹田で実施

## 2 放課後の居場所

1	待機児対応に向け留守家庭児童育成室の業務委託を拡大及び業務プロセスを改善
---	--------------------------------------

# 1 2 生涯にわたり学べるまちづくり

健都ライブラリー、そして地区公民館・図書館・児童センターの機能を備えた複合施設「まちなかりビング北千里」を開設したほか、電子図書の提供など、時代に合わせた新しいサービスも開始し、全ての世代が、あらゆる機会を通じて生涯学習活動に取り組むことができるよう、環境整備を進めました。

## 1 生涯学習環境の整備

### (1) 図書館

1	中央図書館のリニューアルオープン
2	健都ライブラリーのオープン
3	北千里分室が北千里図書館としてリニューアルオープン
4	江坂公園とともに魅力向上を図るため、江坂図書館の改修工事を開始
5	電子図書の提供を開始
6	全児童・生徒がタブレット・パソコンで電子図書を利用できる環境を整備
7	（仮称）吹田市立図書館サービス基本計画の策定に向けた市民アンケート調査を実施

### (2) 地区公民館

1	北千里地区公民館を建替え
2	狭あいの課題がある吹三地区公民館の現地建替えに向け、設計業務を実施

## (3) 北千里小学校跡地複合施設の整備

1	地区公民館、図書館、児童センターの機能を備えた複合施設「まちなかりビング北千里」を供用開始
---	---

# 1 3 環境先進都市のまちづくり

全国初の取組として再生可能エネルギー比率の高い電力調達を進めるなど、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロをめざし、脱炭素社会への転換に向けた先進的な取組の強化を図りました。また、「もったいない精神」に立ち返り、エネルギーや資源、自然共生を大切にしたい環境まちづくりを推進しました。

## 1 脱炭素社会に向けた取組

### (1) 再生可能エネルギーの利用促進

1	公共施設に再生可能エネルギー比率の高い電力を導入
2	豊中市との連携により市民向けに再生可能エネルギー比率の高い電力への切替キャンペーンを実施
3	豊中市との気候非常事態共同宣言、4中核市NATS（西宮・尼崎・豊中・吹田）での地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定を締結
4	配水場での小水力発電を開始（佐井寺配水場、津雲配水場）
5	片山浄水所及び津雲配水場に設置する太陽光発電設備の設置工事に着手

### (2) 省エネルギーの促進

1	ESCO事業による市役所本庁舎の省エネルギー化
2	公共施設の照明や街路灯のLED化
3	公用車脱炭素化方針を策定

### (3) 環境まちづくり影響評価条例によるまちづくり

1	大規模開発事業を質の高い環境取組へ誘導（国立循環器病研究センター跡地開発事業ほか3件）
2	環境影響評価技術指針及び環境まちづくりガイドラインを改定し、防災の項目を追加

### (4) 木材利用の促進

1	公共施設への木材利用推進ガイドラインを策定
---	-----------------------

2	公共施設での能勢町産材等の木材利用を推進 (まちなかりビング北千里ほか21施設)
---	---

## 2 資源を大切に作る社会システムの構築

### (1)食品ロス削減

1	食品ロス削減推進計画を含めた第3次一般廃棄物処理基本計画を策定
2	事業者や市民団体と連携し、食品スーパー店頭で食品ロス削減キャンペーンを実施
3	スーパー等と連携し、てまえどりキャンペーンとして食品ロス削減に向けた取組を実施
4	フードドライブを実施し、提供された食品を子供食堂等に提供

### (2)市民が参加しやすいシステムの構築

1	北摂7市3町及び協定事業者と連携し、マイバッグ持参促進キャンペーンを実施
2	コンタクトレンズメーカー企業との協定を締結し、レンズの空ケース回収を実施
3	公共施設等にマイボトル用給水機を設置
4	使い捨てプラスチックや食品ロスの削減、ごみ減量の啓発を目的に市民との座談会を開催

## 3 安全で健康な生活環境の維持

1	暑熱環境対策の取組を推進する第2次地球温暖化対策新実行計画を策定
2	熱中症予防声かけ出陣式を開催するなど、熱中症への注意喚起を実施
3	適切なエアコン使用を促す、高齢者をモニターとした調査・研究を実施

# 14 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり

中核市移行に伴う市独自の景観行政への取組、本市の地域特性を踏まえた住環境への支援、公園の魅力向上に向けた多様な主体との連携・協働などを行い、より高質で魅力あふれる都市空間づくりを進めました。

### 1 土地利用誘導・景観

#### (1)千里ニュータウンの再整備・活性化

1	北千里駅前の再整備について、民間施行の市街地再開発事業として、都市計画の手続などの取組を進めていくことを決定
2	竹見台・桃山台の両近隣センターの再整備に向けた検討及び地権者等との調整を実施

### (2)景観行政

1	中核市移行に伴い屋外広告物のガイドラインを策定し、地域の特性を活かした景観まちづくりを推進
2	景観まちづくり計画を改定
3	12年ぶりに景観まちづくり賞の表彰を実施
4	景観デザインマニュアルを改定するとともに、公共サインデザインガイドラインを策定予定

### (3)駅前のまちづくり

1	JR吹田駅南口周辺グランドデザイン(案)を関係機関5者で作成し、地域関係者と共有
2	JR吹田駅周辺の活性化の在り方について検討

## 2 住環境

### (1)佐井寺西土地区画整理事業

1	市施行による佐井寺西土地区画整理事業について、都市計画決定を行い、施行区域を決定
2	公共施設の配置等を定める事業計画を策定し、大阪府から事業認可を受け、事業に着手

### (2)マンション管理

1	吹田市マンション管理組合ネットワークの活動支援などを実施
2	既存分譲マンションの耐震診断、耐震設計、耐震改修にかかる費用の一部補助を実施
3	マンション管理適正化推進に係る計画を策定し認定制度を開始、条例制定に着手

### (3)市営住宅・空家

1	岸部中住宅を統合建替え
2	空家等対策計画を策定し、空家等への対策を実施するとともに、条例制定に着手

## 3 公園

1	都市公園等整備・管理方針を策定
2	パークマネジメントの手法等を規定するため、都市公園条例等を一部改正
3	江坂公園、桃山公園の指定管理者制度の運用を開始し、Park-PFI制度を活用し再整備
4	千里北公園、中の島公園の魅力向上に向け、市民アンケートやワークショップ、事業者サウンディング、社会実験を実施



5	緑化重点地区の上新田公園、下新田公園及び川岸公園をリニューアル
6	一部公園トイレの洋式化を実施

## 15 安全・快適な都市を支えるまちづくり

積年の難課題であった複数のまちづくり事業に着手し、安全・快適に暮らせるまちの実現に向けた取組の更なる推進を図りました。  
道路、水道、下水道といった都市基盤の老朽化に対し、「まちの固定費」として計画的に予算を投入し、適切な維持管理を進めるとともに、公共交通の利便性の向上にも取り組みました。

### 1 道路

#### (1)都市計画道路

1	千里丘朝日が丘線（千里丘工区）の事業着手・推進
2	豊中岸部線 ※大阪府事業 （岸部中工区）概成 （岸部南工区）事業着手
3	十三高槻線（正雀工区） ※大阪府事業 事業推進

#### (2)道路改良等

1	上の川周辺まちづくりの取組として、上の川の暗渠化工事のほか花壇踏切道拡幅改良工事に着手
2	佐竹千里山駅線の歩道設置及び道路拡幅工事の実施
3	新八王子橋の歩道整備に向けた新八王子橋改良工事に着手

### 2 水道

1	水道事業の基本計画（経営戦略）「すいすいビジョン2029」を策定・推進
2	水道事業の経営状況等の見える化に努めたすいすいレポートを毎年度作成及び公表
3	水道料金の改定により経営基盤を強化
4	片山浄水所のリニューアル及び片山・泉両浄水所を結ぶ連絡管の完成
5	津雲配水場場内管耐震化工事が完了

### 3 下水道

1	雨水レベルアップ工事を推進 （中の島・片山工区）
---	-----------------------------

2	上の川治水対策に係る雨水管路を整備
3	広域緊急交通路下に埋設している下水道管路施設の耐震化工事を実施
4	下水処理場の耐震診断を順次実施
5	下水道管路施設の包括的民間委託を開始

### 4 交通環境

1	千里山地区コミュニティバスの試験運行を開始
2	JR吹田駅前の地下通路に自転車搬送コンベアを設置
3	シェアサイクルの実証実験を開始
4	江坂駅北側のエレベーター設置に向けた取組を推進

## 16 地域経済の活性化を図るまちづくり

地域経済に新型コロナウイルス感染症感染拡大が大きく影響する中、国や府の制度も活用しつつ、市独自の補助金制度も設けるなど、市内企業が事業継続、社会の変化に対応できるよう支援を行いました。

### 1 産業振興と創業支援

#### (1)新型コロナウイルス感染症関連

1	休業要請等に対する事業者支援として休業要請支援金と小規模事業者応援金を支給
2	市内登録店舗で使用できるプレミアム付商品券を販売
3	物価高騰対策及び市内中小規模店舗支援を目的にキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施
4	設備投資等に積極的に取り組む事業者に、中小企業等チャレンジ補助金を交付
5	新型コロナウイルス感染症関連の融資の返済負担緩和と事業継続支援として、融資利用事業者応援金を支給
6	吹田商工会議所と連携し、事業者向けの支援策に関する情報を発信するポータルサイトを開設

#### (2)地域経済振興

1	市内で生産・加工等された品を、ふるさと納税制度の返礼品として送付開始
2	吹田産業フェアを推進協議会と連携し、オンライン形式や、感染対策のもと会場で開催

3	工事等の前払金等の上限額撤廃や総合評価落札方式の試行実施など、入札制度を見直し、地元企業への発注を促進
---	---

### (3)創業支援

1	市内での新たな起業をすいた創業支援ネットワークにより支援
---	------------------------------

### 2 働きやすい環境づくり

1	勤労者会館を愛称「アスワーク吹田」としてリニューアルオープン
---	--------------------------------

## 17 文化・スポーツに親しめるまちづくり

文化・スポーツ施設の改修等により、文化やスポーツに親しめる環境づくりを進めました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況にあってもより豊かな市民生活を営めるよう、文化や芸術に触れることのできる機会の充実や生涯スポーツの普及・促進などに取り組みました。また、外国籍市民の増加を踏まえ、多文化共生社会の実現に向けた取組を強化しました。

### 1 文化振興・文化財保護

1	メイシアターを大規模改修しリニューアルオープン
2	市制施行80周年、メイシアター開館35周年を記念し、葉加瀬太郎氏のコンサートを開催
3	メイシアターに無料Wi-Fiと配信用機器を整備
4	多文化共生ワンストップ相談センターを開設
5	旧西尾家住宅の改修に着手

### 2 スポーツ振興

#### (1)スポーツ施設の改修

1	中の島・山田の各スポーツグラウンド、片山市民プールの屋内プール、北千里・山田の各市民体育館の改修を完了し、供用を開始
2	市民体育館等のトランポリンやトレーニングマシン等の備品を更新
3	総合運動場を人工芝グラウンド・全天候型トラックに改修し、リニューアルオープン
4	総合運動場談話室の一部改修によりレスリングマットを常設し、多目的室としての使用を開始
5	総合運動場及びパナソニックスタジアム吹田の大型電光掲示板への取替工事に着手

### (2)スポーツの普及

1	ガンバ大阪派遣コーチによる女子中学生サッカー教室を開催
2	ノルディックウォーキングを各地区行事等で実施、指導者を育成

## 18 市民が愛着をもてるまちづくり

万博記念公園ですいたフェスタを開催するとともに、本市の魅力体験・体感できる場所として情報発信プラザ（Inforestすいた）をリニューアルさせるなど、積極的なまちの魅力発信に取り組みました。本市の特徴である大学やガンバ大阪との連携といった魅力を活用しながら、まちへの愛着の醸成を図りました。

### 1 魅力向上と発信

1	市制施行80周年プロジェクト会議と連携したPRや記念誌の発行、記念事業を実施
2	情報発信プラザ（Inforestすいた）を吹田の魅力体験・体感できる場所としてリニューアルオープン
3	吹田まつりに新たな企画を加え、万博記念公園ですいたフェスタを開催
4	商業施設に期日前投票所を設置
5	市役所本庁舎の外壁に季節ごとのデザインのバナーを掲示
6	市役所本庁舎1階において、大型スクリーン・プロジェクターの設置によるPRを実施
7	市役所本庁舎において、市民への利便性向上のためバリアフリー対応等の工事を実施予定

### 2 本市独自の強み

#### (1)ガンバ大阪

1	市民ふれあい事業やパブリックビューイング等を通じたホームタウン活動を推進
2	ホームタウンデザインラッピングバスの運行やビブスの配布、ラッピングポストの設置
3	選手ユニフォーム（パンツ）への「吹田市」掲出、市立保育・幼稚園児のスタジアムピッチ体験、幼稚園・小学校へのガンバ大阪コーチ派遣
4	ガンバ大阪吹田後援会が実施する、選手OBによるオンライン講座やパブリックビューイングへの支援
5	ガンバボーイ・すいたんのデザインされたご当地ナンバープレート導入

## (2)市内・近隣大学との連携

1	吹田くわいの栽培・活用研究、普及啓発（千里金蘭大学）を実施
2	合同企業説明会（大阪学院大学）を開催
3	学生のキャリアデザイン構築に向けた講義等での連携に基づく事業や取組を実現（関西大学、大阪学院大学、大阪成蹊大学）

3	尼崎市、西宮市、伊丹市と一津屋取水場・導水管の共同利用に向け協定を締結し、整備を推進
4	豊中市との気候非常事態共同宣言、4中核市NATS（西宮・尼崎・豊中・吹田）での地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定を締結（再掲）
5	4中核市NATS（西宮・尼崎・豊中・吹田）による労働相談窓口の相互利用や人事交流等を開始

# 19 行政資源の効果的活用

第4次総合計画に基づき、SDGsを意識しながら持続可能な行政運営に取り組みました。中核市移行に際しては、必要となる人員体制や財源を確保し、円滑な事務移譲に努めました。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大や物価高騰を受け、緊急的支援策により市民生活等を支援しました。デジタルトランスフォーメーション（DX）にも積極的に取り組み、市民サービス向上や業務プロセス改善を図りました。

## 1 第4次総合計画の推進

1	計画の中間見直しに着手
2	19の政策が関連する主なSDGsのゴールを整理し、進捗状況と合わせて公表

## 2 行財政運営

### (1)中核市移行、新型コロナウイルス感染症関連・物価高騰対応

1	中核市に移行し、約3,000の事務を移譲
2	新型コロナウイルス感染症・物価高騰緊急対策アクションプランにより市民、事業者、医療・福祉現場、教育を支援
3	新型コロナウイルス等感染症対策基金の設置・寄附受け入れ

### (2)効果的・効率的な行財政運営の推進

1	財政運営の基本方針に掲げる目標値を達成（令和3年度（2021年度）決算）
2	押印見直し方針に基づいた押印廃止等により業務プロセスを改善

### (3)自治体間連携の推進

1	豊中市・池田市・箕面市・摂津市との5市による消防通信指令業務共同運用を決定（令和6年度（2024年度）開始）（再掲）
2	豊中市と柿ノ木配水場の共同利用を開始

## 3 公共施設の最適化

1	一般建築物の個別施設計画を策定
2	公共施設総合管理計画を改訂

## 4 働きやすい職場づくり・人材育成

1	特定事業主行動計画（みんなのはたらきかたプラン～働きやすい職場を目指して～）の策定
2	職員の意欲向上と組織活性化のため、長時間勤務を抑制し、ワーク・ライフ・バランスを実現
3	能力発揮の機会として、女性管理職の登用を拡大
4	出産子育て休暇等の新設や育児休業制度の拡充による育児と仕事の両立支援を実施
5	多様な人材確保のため、採用試験の受験要件などを見直し

## 5 ICTの利活用

1	手続の電子化、キャッシュレス決済の導入、システムの標準化などのDX推進
2	公共施設予約・照会システム導入及び対応施設の拡大、公共施設のWi-Fi環境整備